

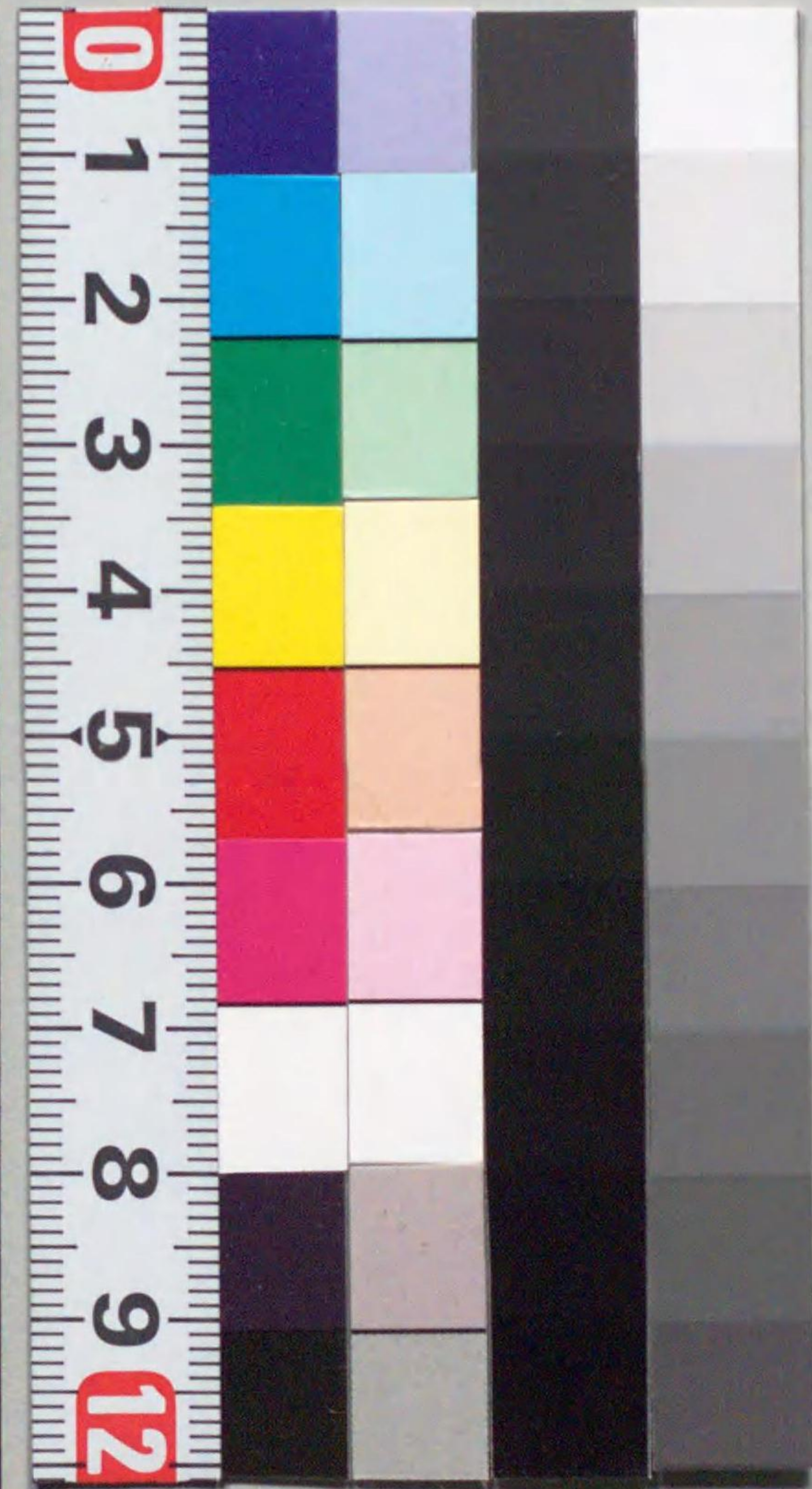
Y994

J5053

社會教化資料 第三輯

自力更生を目指して

朝鮮總督府學務局社會課



Y994  
J5053

民心の作興、民力の涵養は、時局に稽へ世情に顧み、社會教化の施設と相俟て、其の必要一層切實なるものあるに鑑み、本府では疆内一齊に精神作興の運動を起すこととなり、大正十二年國民精神振作に關する大詔の渙發された十一月十日を起點として、各種の施設を講ずべく各方面に通牒が發せられた。こゝに收めた綱目は其の施設上の指針として示されたものゝ大要であるが、この綱目は一年中を通じ、常に我等の念頭に置いて繼續的に實行を要する事項であるので、パンフレットとして廣く頒布することとした。



I 種  
W



\*1200800154992\*

# 民心作興施設實行綱目

一 忠君愛國ノ本旨ニ基キ、共存共榮ノ精神ニ則リ、内鮮人一致協同、公民トシテノ訓練ヲ積ミ社會ノ進歩改善ヲ圖ラシムルコト

我が立國の本義を闡明し、君民一體の觀念を明徴にし、日韓併合の精神を了解し一方世界に於ける我國の地位と特長とを認識し、和衷協同して共存共榮の途に進み、公民としての修養を積んで自己を完成し、社會の進歩發達に寄與するのが吾人の使命である。

〔事例〕

- 一、國體觀念ヲ明徴ニスルコト
- 二、國旗掲揚及我國年號使用ノ勵行
- 三、報恩感謝ノ念ノ涵養
- 四、遵法精神ノ鼓吹、非合法的行動ノ排斥
- 五、内鮮相互事情ノ研究
- 六、公德心ノ涵養、公共奉仕ノ觀念ノ助長

七、婦人ノ社會的地位ノ改善向上

八、公民講座ノ開設、其ノ他公民教育ノ普及

二 不信實行萬相ヲ靜觀シ、依頼心ヲ排除シ、克己忍苦ノ修練ニ耐へ、自力更生ノ潑刺タル氣力ヲ養ハシムルコト

言葉多くして行爲の之に伴はざる、偏見に捉はれて事物の考察に公正を缺くの弊を矯め、殊に國民の經濟生活上に於ける難局に當りて、これが打開を政府の保護助成にのみ依頼するが如きは誠に遺憾である。もこより政府當然の責務としての施設に待つべきものは決して少くないが、國民が大局を達觀し、不言實行、克己忍苦、如何なる困窮缺乏にも耐へ、國民自らの力によつて無一物の境涯より奮然颯起するの自主自立的覺悟を應急並に永遠の策の必成を期する工夫をなすことこそは當面に處する第一義である。こゝに始めて潑刺たる氣力と前途の期望を生ずるのであり、この意氣、この工夫の缺如せる所に對して、よしんば如何に政府が保護助成をなすも斷じて効果は無い。難局打開の原動力をそこに求めねばならぬ。

〔事例〕

一、冷靜率直ニ世相ヲ觀察スル氣風ノ涵養

二、他力的依頼心ノ打破

三、政府ノ補助ハ結局國民自身ノ負擔タルコトノ自覺喚起

四、禁酒禁煙ノ勵行

五、發明、獨創工夫の勸奨誘導

六、勤勞尊重の精神及努力奮闘の意氣の高調

三 産業ノ發達ヲ圖リ、消費ノ合理化ニ努メ、以テ新タナル生活ノ基本ヲ確立セシムルコト  
産業の發達を謂ひ農村の振興を謂ふも、畢竟するに自力更生の信念を基調とする一家の經濟生活と精神生活との建て直しに俟つの外はない。殊に朝鮮の現狀に即し、更に現下非常時に鑑み、一層其の必要を痛感するのであるが、未だ一般民衆が經濟的にも精神的にも頗る自覺に乏しい。經濟觀念を離れた傳來の經營方法を千遍一律の如く繰返すのであつては、到底一家經濟の建て直しは困難である。殊に朝鮮産業の大宗たる農業は、今や營農上の根本的轉換期に遭遇して居る。斯る際に一般農民が現狀に目醒めて、能く農業の本質を理解して合理的經營の方法を講じ、戸毎に周到適切なる營農計畫の下に、不斷の努力を以て自奮共勵したならば、農家經濟の充實は期して俟つべく、安心向上の境地を拓き得るのみならず、之に依つて朝鮮の産業の進展に及ぼす効果も蓋し少くないのである。以上經營方法の改善を圖るに共に、更に周到綿密なる工夫に依て冗費を省き生活を合理化する等消費節約に心懸け、生活に餘裕を作り其の安定を圖り將來發展の基礎を

築く事に心すべきである。

〔事例〕

- 一、收支ノ打算、即チ入ヲ圖リテ出ヲ制スルノ慣習ヲ養ヒ借金ノ弊風打破、貯蓄ノ獎勵ニ依リテ將來發展ノ準備用意ヲ爲サシムルコト
- 二、自己ノ生業ニ對シ年中行事表(例ヘバ農家各戸ニ營農計畫ヲ樹ツルガ如シ)ノ制定ニ基ク生活經營
- 三、婦人ノ屋外活動ノ勸奨
- 四、冠婚葬祭ニ於ケル傳統的惡習ノ打破
- 五、金肥ノ節約ト堆肥ノ獎勵
- 六、農村ノ振興ヲ目的トスル部落單位ノ實行組合ノ設置
- 七、勤農共濟組合、振興會、矯風會其ノ他既設教化團體ノ活動並ニ内容ノ改善充實
- 八、金融組合、産業組合、農會其ノ他經濟的團體ノ教化的活動

四

社會連帶ノ意識ヲ明ニシ、共同協力ノ美風ヲ助長シ、特ニ郷土聚落ノ振興ニカムルコト國民の社會生活は互助協調、共存共榮を本義とする。故に自己の爲のみを圖つて隣人の痛苦を思はず、個人及階級の利害得失に専念して國家及全社會の共同福利を思はざるは共にこの本義に背

反する。即ち以上の諒得に基き、家族的に一圓融合したる共同努力、共同救濟の具體的方策を樹立せねばならぬ。これが爲には一邑一面内に於て、更に地理的、歴史的に社會生活の單位を構成せる一郷、一部落こそその實行の最初の單位であり、まづそこから實行が始まらなければならぬ。

〔事例〕

- 一、日本ノ國際的地位ヲ明ニシ、舉國一致ノ意義闡明
- 二、朝鮮ノ前途ハ其ノ資源的立場ヨリ見テ、將又種々ノ實情ヨリ考察シテ大ニ有望ナルコトヲ自覺セシメ、感奮健闘ノ意氣ノ發揚
- 三、家族制度ノ美風高調
- 四、良妻賢母トシテノ婦人教育ノ徹底
- 五、學校、社寺等ヲ中心トスル郷土聚落ノ協同親睦
- 六、郷土聚落毎ニ教化機關ノ設置
- 七、一聚落、一里洞ニ於ケル共同勞働、共同生産、共同販賣、共同購買、郷約、隣保相助ニ關スル施設
- 八、有識及有産階級ノ自覺ト實踐躬行
- 九、因襲的賤視觀念ノ打破

五 弛緩廢類ノ氣風ヲ掃蕩シ、緊張努力ノ精神ヲ振起シ、特ニ官公吏及教育宗教ニ從事スルモノハ自己ノ使命ニ鑑ミ率先奮起ニ努ムルコト

近時一部の新聞、雜誌、圖書、映畫、演劇等其他隨所に弛緩廢類の風瀰漫し、甚しきは青年子女の墮落に供するが如き娛樂機關の設けらるゝをさへ見るに至り、一般大衆に及す惡影響は誠に恐るべきものがある。故に直接間接國民指導の任にある官公吏、教育家、宗教家等は其の使命の重大なるに鑑み、自ら反省して言行共に率先、國民の師表となり、質實剛健、緊張努力の良風を作興し、敢然として速にかゝる弊風を掃蕩し、社會風教振作の根本に培はねばならぬ。

〔事例〕

- 一、趣味娛樂ノ向上
- 二、廢類的圖書讀物ノ排斥
- 三、郷土聚落ニ適應シタル娛樂機關ノ施設
- 四、淫蕩の場所へノ出入ニ對スル社會的制裁
- 五、時間ノ勵行、執務時間ノ嚴守
- 六、指導者ノ躬行示範

六 經濟生活ノ道德的意義ヲ明ニシ、教化ノ運用ヲシテ國民ノ實生活ニ即セシムルコト

經濟生活と道德生活とは一元的に考慮さるべきものである。經濟を無視した道德生活があつてならないと共に、道德を無視した經濟生活はあり得ない筈である。しかし後者の偏見があるが故に非人道的な利己心のみを助長し、唯物主義的階級闘争が理論づけられ、前者の偏見のために、往々教化運動が國民の現實生活から遊離して、觀念遊戲に墮するの非難を被るのである。故に速に經濟道德分離の二元的舊觀念を打破して、其の融合一致を圖らしめることに努力しなければならぬ。

〔事例〕

- 一、産業講習會其ノ他之ニ準ズル施設
- 二、農山漁村知識階級ニ對スル産業實務習得施設
- 三、生活改善ニ關スル施設
- 四、聚落、里洞ノ協同的訓練施設
- 五、經濟團體ノ教化的活動要望
- 六、負債ノ償還
- 七、經濟生活ト道德生活トノ連絡一致
- 八、富者ナルガ故ノ盲目的優越觀念ノ打破

五 弛緩廢頹ノ氣風ヲ掃蕩シ、緊張努力ノ精神ヲ振起シ、特ニ官公吏及教育宗教ニ從事スル  
モノハ自己ノ使命ニ濫ミ率先奮起ニ努ムルコト

九、色服ノ獎勵

一〇、婦人ノ教養施設助長

1986  
16



(朝鮮印刷株式會社印行)